

呉工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	インキュベーションワークⅠ	
科目基礎情報							
科目番号		0025		科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年	1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		各テーマに応じて準備する					
担当教員		林 和彦					
到達目標							
1. コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力について認識している。 2. 主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、倫理観（独創性の尊重、公共心）、未来志向性、キャリアデザイン力について認識している。 3. 創成能力やエンジニアリングデザイン能力について認識している。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力についてコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力について適切に認識している。		コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力のについて知っている。		コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力を知らない。	
評価項目2		主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、倫理観（独創性の尊重、公共心）、未来志向性、キャリアデザイン力について適切に認識している。		主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、倫理観（独創性の尊重、公共心）、未来志向性、キャリアデザイン力について認識している。		主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、倫理観（独創性の尊重、公共心）、未来志向性、キャリアデザイン力について知らない。	
評価項目3		創成能力やエンジニアリングデザイン能力について適切に認識している。		創成能力やエンジニアリングデザイン能力について認識している。		創成能力やエンジニアリングデザイン能力について知らない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HD)							
教育方法等							
概要		学生がプロジェクトテーマを設定し、メンバーを募集して、組織を立ち上げ、活動計画を立案して、実行できるようになることを目標とする。学年及び学科の異なる学生同士でチームを組んで、技術者が備えるべき分野横断的な能力を養う。					
授業の進め方・方法		演習、実習、グループワーク、講義					
注意点		テーマ内容については、担当教員に授業後等の時間を利用して良く確認して下さい。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		授業内容の確認する。		
		2週	課題検討		課題探求のための情報収集をする。		
		3週	課題検討		課題探求のための情報収集をする。		
		4週	課題検討		課題を検討する。		
		5週	課題設定、チームビルディング		課題を決定し、チームを編成する。		
		6週	調査活動・実践活動		調査活動において課題を設定し、課題解決について立案し、実行計画を立てる。		
		7週	調査活動・実践活動		調査活動において課題を設定し、課題解決について立案し、実行計画を立てる。		
		8週	進捗確認		課題内容、解決策の立案内容、実行計画の進捗を確認する。		
	4thQ	9週	調査活動・実践活動		課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。		
		10週	調査活動・実践活動		課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。		
		11週	調査活動・実践活動		課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。		
		12週	調査活動・実践活動		課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。		
		13週	進捗確認		実践活動の進捗を確認する。		
		14週	調査活動・実践活動		課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。		
		15週	発表準備		発表の準備をする。		
		16週	発表		発表		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成することができる。		3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。		3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。		3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。		3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。		3	
				目標の実現に向けて計画ができる。		3	

				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	40	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	40	60	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0